

中高生向けストーリーの概要

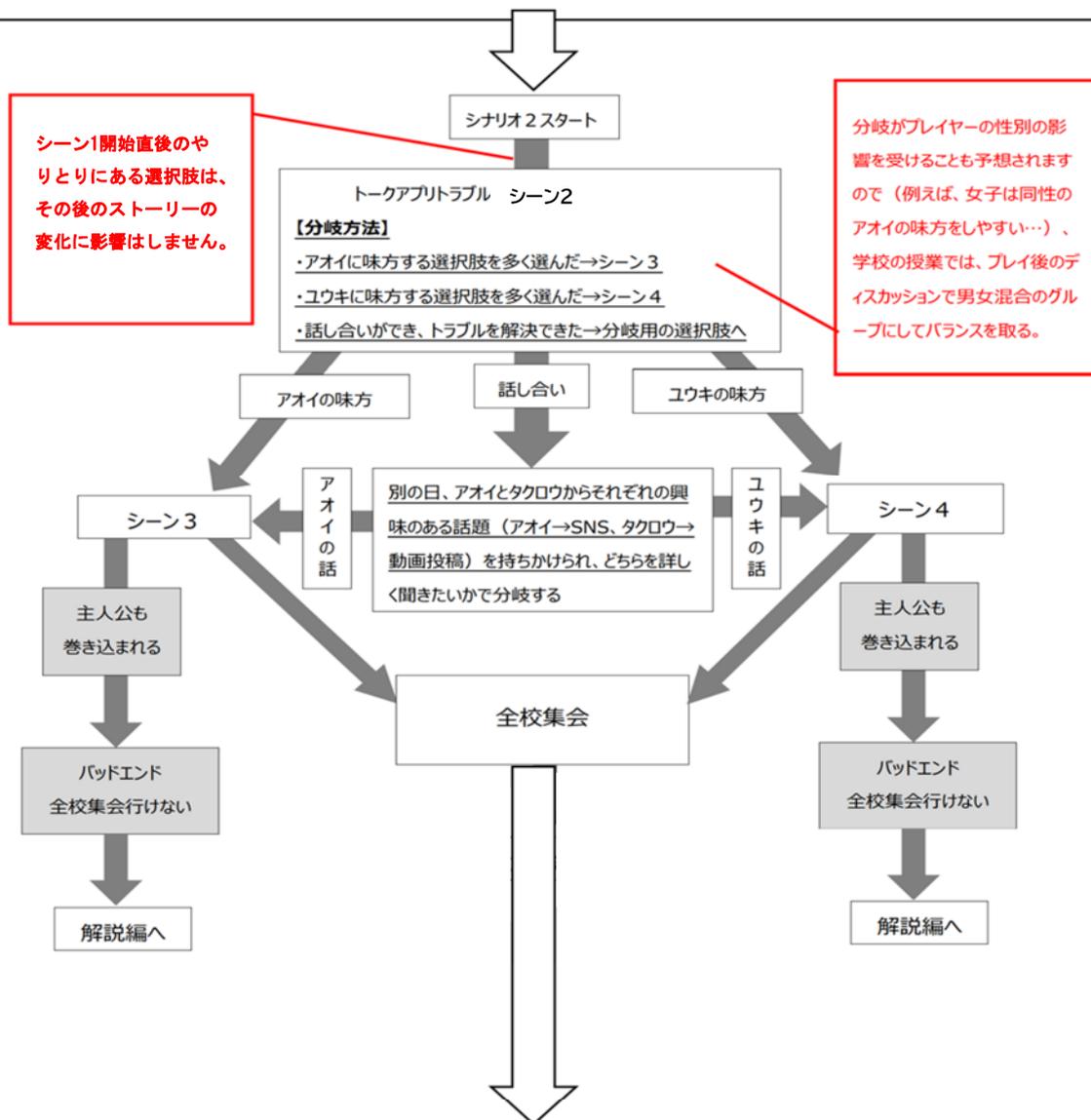
登場人物



全体の流れ

シーン1/ みんなでボランティアの手伝いに！

友達数人で公園で遊びながら会話をしているうちに、今度みんなでボランティアの手伝いをしに行こうという話になった。



シーン6 / ボランティアの手伝い

企画したみんなでボランティアの手伝いに出かけた。
そこでスマートフォン、インターネットの良さを感じた。

- ・待ち合わせ場所に遅れることを連絡できる。
- ・自転車ではぐれても状況を連絡しあえる。
- ・天気がわかる。

シーン1

導入

シーン1/みんなでボランティアの手伝いに！ **A**

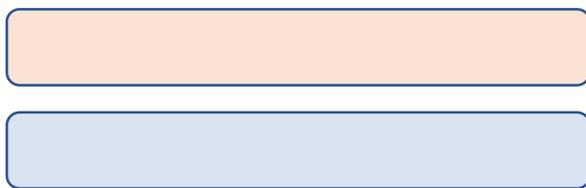
友達数人で公園で遊びながら会話をしているうちに、今度、ユウキのお兄さんが行っているボランティアの手伝いに行こうという話が出てきた。

●みんなでスマホやゲームに関する話題になり、いくつか質問をふられる

シーン2 **B** へ

ここでの回答は
ストーリーの
流れには影響せず

<表記の説明>



色塗り・実線テキストボックス
(ストーリーが変わる選択肢)

※ストーリーに出てくる他の選択肢はストーリーに影響しません。



色なし・点線テキストボックス
(条件による自動分岐)

- ・それぞれの場面は **A** ~ **Z** または **a** ~ **m** のアルファベットで示しています。
- ・選択肢が出てこないシーンについては省略しています。

シーン2

「トークアプリによる仲間外れや悪口」

シーン2/ 後でトークアプリグループが険悪に **B**

家に帰ってピクニック企画のトークアプリグループを開くと、ユウキとアオイの2人がトークアプリ上で言いあいをしていた。どうやらユウキがアオイことを無視した、というのが原因らしい。

既読無視？

どうやら、アオイがユウキに送ったメッセージに対してユウキが返信しなかったとのこと。ユウキは「忙しかったのであとで返信しようと思っていた」と言っているが…

すぐに返信したほうがいい

少し待ってもいいんじゃない？

無理なものは無理 **C**

ユウキは「いつでもすぐに返信しないといけないと思ってる？」と返してきた。

気持ちの行き違い **D**

「返信までいいのでは？」と言うとアオイは「ひどい、そんな言い方ないよね」と返してきた。どうやらきつく聞こえたしまったらしい。

リオからの個別メッセージ

★次頁 **E** へ

自分たちで解決できる？ **F**

次の日、先生に相談すると「直接話し合ってみたら」と言われた。

そうしてみます

ケンカしてるから難しいです

なんだかぎくしゃく **I**

教室に戻ると、みんなは昨日のことをあまり気にしていないようだった。でも、あんなに言い争ったのに、解決しないままで、もやもやする。

リオ不参加エンド確定

アオイかユウキ

J へ

リアルで話合い **G**

次の日、関係者を集めて話し合いをした。その中で各家庭の事情があること、お互い気持ちが伝わっていなかったことがわかった。文字だけでは勘違いが起りやすいこと。リアルで話し合うことの良さを知り、友達との仲も深まった気がする。その後はトークアプリグループを連絡手段として常用し、トラブルになりそうな時はリアルで話し合うのが習慣になった。

どちらに興味がある？

K へ

終わらない言い合い **H**

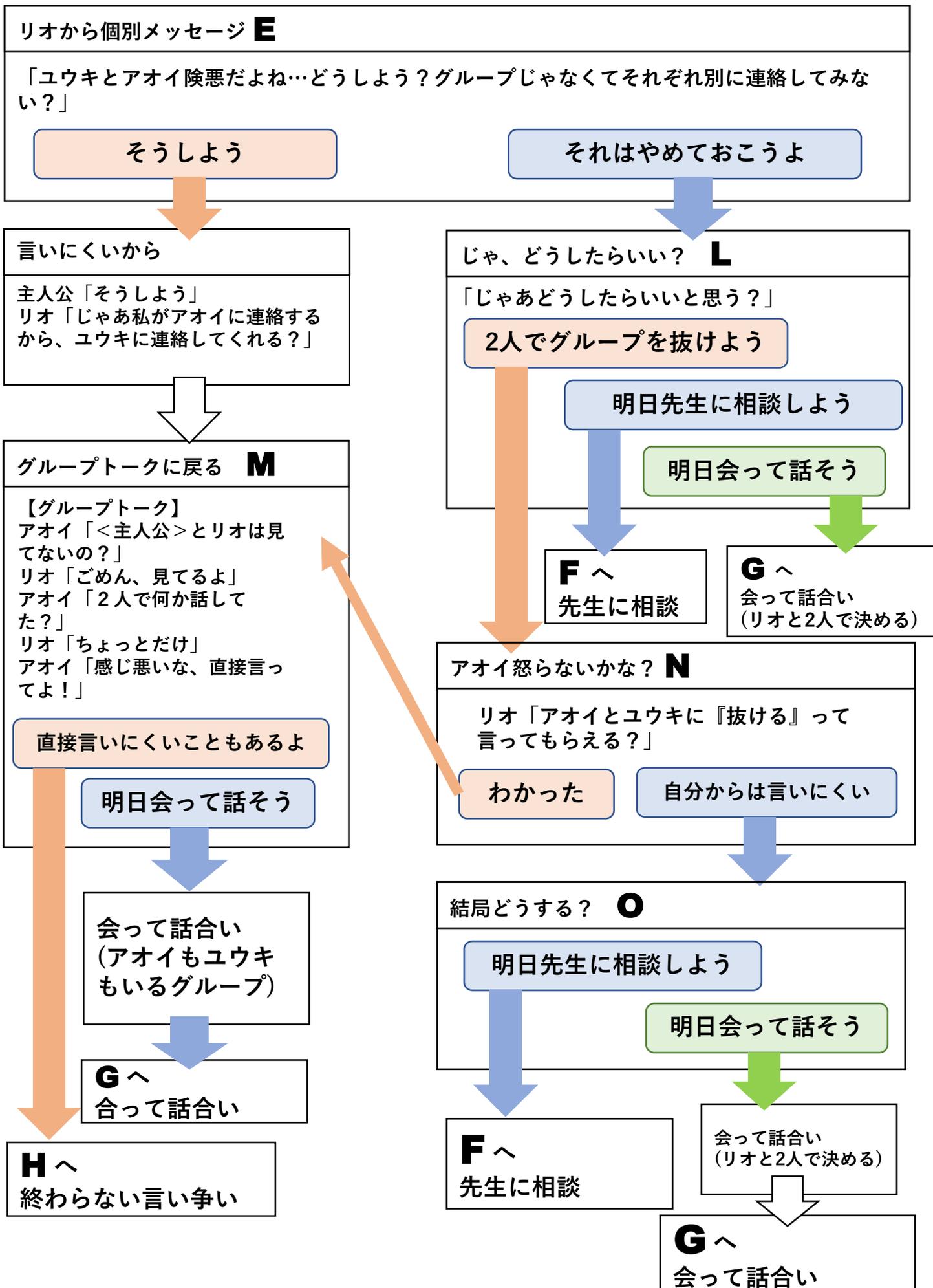
みんながトークアプリ上で言葉をかわすけど、話せば話す程お互いすれ違うように感じる。ボランティアの話は立ち消えに。

ボランティア中止
エンド確定

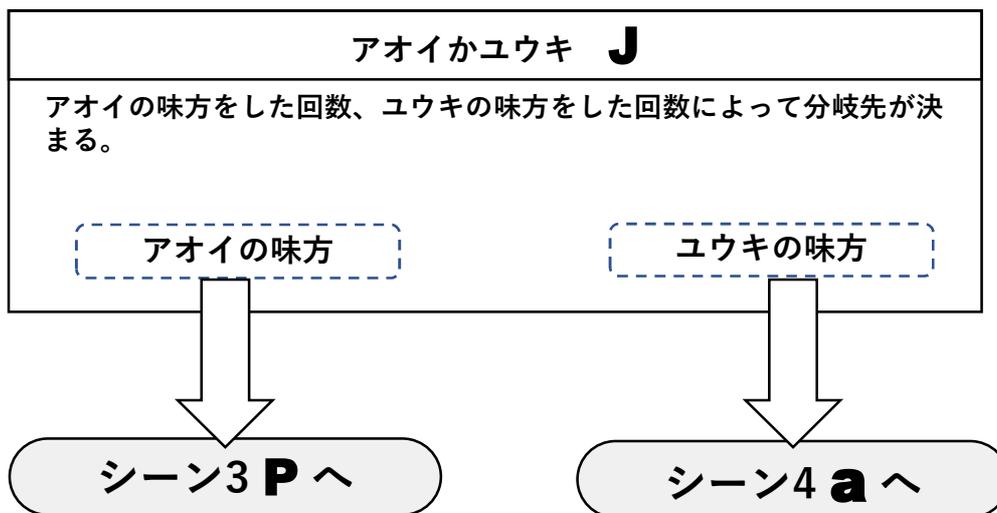
アオイかユウキ

J へ

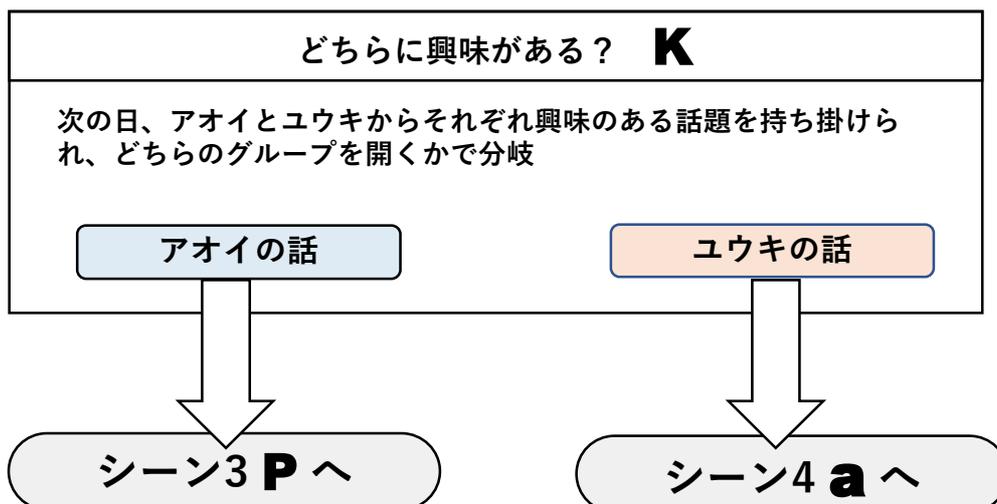
リオからの個別メッセージ



どちらの味方をしたかで分岐



興味のある話を選択



シーン3

「SNSにおける注意点」

シーン3/ 夜、友達にトークアプリで相談される P

アオイから「実は私、雑誌編集者と友達なんだ」という発言があった。もう1年くらいSNSでやりとりをしていて、すでに一度会っているとアオイは言った。

くわしく聞かせてよ！

それ、危なくない？

モデルデビュー？ Q

その人は趣味のアカウントの集まりで知り合った人とのこと。同じグループの人から、その人は実は有名な雑誌編集者であると教えてもらったとのこと。すでに先月一度会って一緒にプールで遊んだとのこと。会いに行くことを親に言ったが反対されたので秘密で会いに行ったとのこと。次は雑誌の撮影をするから一緒に来てくれない？と誘われた。

それはあやしいよ

いいね、一緒に行こう

うーん、やめとこうかな

信じなくてもいいよ R

「それ危険じゃない？」と言うと、アオイは少し怒ったようで「危険じゃないよ、いい人だよ。一度会ってるんだよ」と言われた。

主人公も会いに行く

★次頁 Xへ

断った後に S

次の日、アオイの目は真っ赤だった。雑誌社に電話するとそんな人はいないと言われたとのこと。そのため「編集者じゃないですよ。行きません」と伝えたところ、相手の態度が急変し、プールで撮った水着の写真どうしようかな、と脅されたとのこと。

親に相談してみた？

そんな写真、無いかもよ

警察に相談した U

親に話をして、警察に相談したとのこと。まず警察が相手に警告の電話をしてくれたとのこと。相手は最初は知らないと言っていたがDMの履歴が決め手に。でも相手の手にある写真は消せない。どこかで悪用されたりしないか、とても心配だ。

本当にあった V

写真は本当にとられていた。

親に相談するしかないよ

先生に相談してみようよ

先生から親に連絡 W

先生は相談にのってくれて、すぐにアオイの親に連絡してくれた。

もし親がいなかったら T

次の日、アオイは学校に来なかった。夕方トークアプリを見てみると、アオイから驚がくの事実を聞かされた。アオイが会いに行くと突然車に連れ込まれそうになったらしい。でもアオイの行動を不審に思った親がつけていたらしく、助けてくれたとのこと。もし親が来てなければどうなっていたかと思うとぞっとする、という内容だった。

アオイ不参加エンド確定

全校集会へ Yへ

主人公も会いに行く

主人公も同行 **X**

主人公とアオイが会いに行くと、そこには待ち合わせの男性が。
車に連れ込まれそうなところを、アオイのお父さんが助けてくれる。

全校集会に参加できず。
バッドエンド

バッドエンド確定



解説編か戻るかの選択

シーン4

「肖像権と個人情報」

シーン4/ 写真をアップしていい？ a

その日の夜、ユウキが「公園でとった動画をSNSにアップしていい？」と聞いてきた。

SNSアップはやめて

顔が出るのはイヤかな

トークアプリのグループならいいよね？ b

他の友達が「SNSはイヤだけど、クラスのトークアプリグループならいいんじゃない？みんな友達だし」と提案してきた。他のメンバーもトークアプリグループならいいよ、という雰囲気だ。

クラスのグループならOK

それもイヤかな

投稿した動画が人気に c

SNSに投稿した動画が大ウケ。「踊りがいいね」というコメント、リツイートがたくさん。ユウキが「プロフィールで学校名ばれたっぽいけど、悪い事してるわけじゃないからいいよね」と聞いてきた。

いやまずいよ

うん、手伝うよ

それならいいか

いや、やめとくよ

私の肖像権 d

突然リオが「私はそれでも嫌」と拒否。「でも多数決だから」という声に対してリオは「その写真、私の肖像権もあるから」と主張する。それに対してユウキは「じゃあリオだけモザイクかけてグループ出そう」と提案してきた。

それならいいんじゃない

それもかわいそうだよ

じゃあ加工するよ e

ユウキは「わかった。顔にモザイクかける」と提案してきた。

それはイヤだな

まあ、それならいいよ

そこまでして写真共有する？ i

嫌な気持ちになる人がいるのに写真を共有する必要がある？という話になり、写真アップの話は無しになった。

ひとりモザイク j

ひとりだけモザイクの写真はクラスで話題になった。トークアプリの中では「モザイクさん」というあだ名で呼ばれるように。

動画は消そう f

ユウキはちょっと不満そうな顔をしていたけど、その動画を消したようだ。

過去の動画で炎上 g

ユウキは、次々と動画を投稿、ある日「この人、過去にこんなことしてる！」というコメントが投稿された。それはユウキが線路の上で踊っている動画だった。たちまちその動画は広まっていった。

うっかり本名を呼んだ動画。そのまま投稿する？ h

バズる！

やめておこう

先生の呼び出し k

ユウキはアカウントごと消したけどあとの祭り。問題の動画はどんどん拡散される。ユウキその後、スマホを親に没収された。

ユウキスマホ無しエンド確定

本名を出した l

★次頁 mへ

全校集会へ Yへ

主人公も撮影協力

主人公も協力 **m**

主人公はユウキの画像撮影の手伝いをする。
その中で、ユウキの過去動画が炎上。

次の日学校に呼び出され、ユウキと主人公はメインで動いていたとわかり、先生に注意される。

全校集会に出席できず。
バッドエンド

バッドエンド確定

解説編か戻るかの選択

シーン5

全校集会

シーン5/ 臨時の全校集会 **Y**

学校で臨時の全校集会があった。そこで話されたのは以下の3つだ。

- ・ ネットを使った危険な出会いがあった。
- ・ 同じ学校の生徒の投稿が炎上した。
- ・ スマホやゲームの使いすぎで授業中に寝てしまう生徒が増えている

※自分が経験しているトラブル(通ったルート)の場合「あの事だ」という事がわかる。

※自分が経験していないトラブル(通っていないルート)の場合、他のルートへの興味をわかせることができる。

シーン6 **Z** へ

シーン6

「ネットの光の活用」

シーン6/ ボランティアの手伝いへ！ Z

ボランティアの手伝いに行く日になった。

- ①ボランティア企画が立ち消えるなくなる
- ②アオイがネット被害 =アオイは不参加
- ③ユウキがスマホを没収された =ユウキスマホ無し
- ④リオと疎遠になった =リオ不参加
- ⑤リオと疎遠&ユウキスマホ没収 =リオ不参加、ユウキスマホ無し
- ⑥全員参加のボランティア

ボランティアに向かう道中でスマホの以下の利点を実感する

- ・待ち合わせ場所に遅れることを連絡できる。
- ・自転車ではぐれても状況を連絡しあえる。
- ・天気がわかる。

光の面

ユウキの兄から、スマホが無かったころの話聞く

解説編 選択画面へ

エンディングパターン

エンディング番号は2桁で表示されます。

例

02

トークアプリ

- 1:解決
- 2:企画立ち消え
- 3:リオと疎遠

SNSトラブル

- 1:アオイルート…バッドエンド
- 2:アオイルート…アオイが会いに行くのを回避
- 3:アオイルート…アオイだけ会いに行く(ボランティア、アオイ不参加)
- 4:ユウキルート…バッドエンド
- 5:ユウキルート…肖像権でトラブル(=リオ疎遠)
- 6:ユウキルート…肖像権でトラブル回避
- 7:ユウキルート…動画投稿炎上回避
- 8:ユウキルート…ユウキの動画だけ炎上

中高生向けストーリー 解説編 1

「トークアプリによる仲間外れや悪口」

解説編では以下の内容を番号順に解説します。

① トークアプリの特性

- ・ 非対面性
 - 文字だけの会話では気持ちが伝わらないことがある
 - 相手が目の前にいないので、つい言いすぎてしまうことがある
- ・ 相手の返信が遅い事が気になってしまうことがある

② トラブルを防ぐ方法や対策

- ・ 「その言葉に悪意はないのかもしれない」という寛容な気持ちで対応
- ・ 文字トークでは価値観(好き/嫌い)がわかれやすい話はできるだけ避ける
- ・ グループを抜けるのもひとつの手段。しかし話し合いでお互いの事情や意見を共有・理解できればもっとよい。

③ トラブルが起こった時の解決策

- ・ 一度時間をおいてみる。冷静になって読み返すとお互いの誤解に気づけるかも。
- ・ トークアプリ上で解決しようとするとう泥沼になることも多いのでリアルで会って話し合う。
- ・ いがみ合ってしまい、会う機会を作りにくい場合は、友達や先生に仲介役になってもらう。

④ 光の面

- ・ 友達との連絡手段

中高生向けストーリー 解説編 2

「SNSにおける注意点」

解説編では以下の内容を番号順に解説します。

① SNSの特性

- ・匿名性「相手の素性はわからない」
→ SNSに投稿した文字、写真は多くの人に見られる
- ・記録性「やりとりが残る」
→ 一度相手に渡した情報は取り返せない。ネットにアップされたら消せない。
- ・情報のバイアス
→ コミュニティのみんなが、その人を雑誌編集者と信じ込んでいた
→ コミュニティに仲間がいた可能性や、複数アカウントを使いなりすましていた可能性もある。
→ SNSは一見では匿名だが、投稿から本人を特定することが可能。実際に有名人の誹謗中傷等で、個人が特定され裁判等になっている。相手が有名人だからという理由で軽い気持ちで誹謗中傷の投稿などはしてはいけない。
→ ネット上の情報を鵜呑みにしない。実際にネット上で誹謗中傷の書き込みをするのは1～2割の人。大多数は傍観者である。（あえて批判コメントも書かないし、賛成でも書かない）しかし、ネット上では少数の誹謗中傷意見がマジョリティーかのように見えてしまう。

② トラブルを防ぐ方法や対策

- ・ SNSで知り合った人に個人情報(写真を含む)を渡さない。
- ・ SNSで知り合った人に会いに行かない。

③ トラブルが起こった時の解決策

- ・ 写真や個人情報を悪用されることがあるので、なるべく早く信頼できる大人に相談する。
- ・ 場合によっては大人の人に頼んで警察に相談する。

④ 光の面

- ・ 同じ趣味の人と知り合って交流ができる。
- ・ 自分の知らない情報を知ることができる。

⑤ 関連動画の紹介

- ・ 令和3年5月に公開された群馬県の動画を関連動画として紹介する。



引用)『インターネットの特徴を知り、広い世界とつながるツールとして活用しましょう』(被害者にならない)
<https://www.youtube.com/watch?v=2XewOQn5MHI>

中高生向けストーリー 解説編 3

パート3 「肖像権と個人情報」

解説編では以下の内容を番号順に解説します。

①SNSの特性

- ・公開性「世界中に発信・拡散される」
→SNSに投稿した文字、写真は多くの人に見られる
- ・記録性「やりとりが残る」
→一度ネットに拡散された情報は消せない。アカウントを消しても残る。
- ・肖像権
→写真には肖像権がある。撮影を拒否したり、ネットへのアップを断ったりすることができる。
- ・中毒性
→いいねがつくのがうれしくて、どんどん投稿したくなる。

②トラブルを防ぐ方法や対策

- ・個人情報が含まれる情報をSNSにアップしない。
- ・写真をネット(トークアプリ含む)で共有するときは、そこに写っている人全員の許可をとる。
- ・「いいね」をもらうために不適切な動画を作成しようとしていないか、動画を作成する前に一度冷静になってかんがえてみよう。

③トラブルが起こった時の解決策

- ・投稿が炎上した場合は、対応が難しい場合が多いので大人に相談する。
→すぐに消すだけだと、キャプチャを持っている人が拡散させることも

④光の面

- ・個人情報が出ないように気を付けることで創作活動や発表の場として活用することができる。